

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
OLD SCHOOL 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	SEIJI/Hicky/ATSUSHI/ゴリキング			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
【ATSUSHI】 ダンスチーム『AFROISM』、劇団Blue Print旗揚げ公演への参加をきっかけに役者活動を開始。TOKYO DANCE DELIGHT 受賞、NHK歌謡コンサート、FNS 歌謡祭、少年チャンプル出演ナオト・インティライミ、GACKT、安室奈美恵、the telephones、RHYMESTER等のコンサート、ミュージックビデオに出演。 【ゴリキング】 LAにて開催されている世界最大級のダンスコンテスト“World Of Dance”にてUNVISIONのメンバーとして優勝し世界チャンピオンとなる。「日本から世界へ」をモットーに和文化とストリートダンスをミックスした独自のスタイルのアニメーションダンスチーム” TRIQSTAR”、ヒップホップとアニメーションを独自の感性でMIXしたチーム” GO-R0”、レペゼン湘南で幅広いクリエイターやエンターテイナーが所属する集団の” BengTengFunkyWorks” のメンバーとして活動中。											
授業概要											
この科目ではOLD SCHOOLを代表するダンスジャンルであるブレイクダンス、ロックダンスポップ、それぞれのジャンルの基本ステップや体の動きをレッスンを通して修得します。基礎となるステップや技、コンビネーションの習得と共に、ソウルダンスからの流れをくむグループや音楽理解力を身に付けます。Lockin、Popに関しては修了公演リハーサルを通して高度なコンビネーションを使った作品を作ります。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
この科目ではブレイクダンス、ロックダンス。ポップの基礎的な動きを覚えます。ストリートダンスに必要なアイソレーションやリズムトレーニングを修得したうえで基礎ステップや体の使い方を学びます。その為毎レッスン十分な基礎練習をしたうえで、技、コンビネーションへの取り組みを行います。											
成績評価方法											
試験・課題レポート	30%	試験と課題を総合的に評価する									
成果発表	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ATSUSHI Pop 表現力を促すためのコンビネーション										
第2回	ATSUSHI Pop 表現力を促すための振付け										
第3回	ATSUSHI Pop 表現力を促すための振付け+ルーティーン										
第4回	SEIJI先生 Lock 表現力を促すための振付け+ルーティーン+コンビネーション										
第5回	SEIJI先生 Lock 複数のコンビネーション										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
OLD SCHOOL 2	
第6回	SEIJI先生 Lock 複数のコンビネーションを連続して実践できるようになる
第7回	ATSUSHI Pop 表現力を促すための振付け+ルーティーン+コンビネーション
第8回	ATSUSHI Pop 複数のコンビネーション
第9回	ATSUSHI Pop 複数のコンビネーションを連続して実践できるようになる
第10回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 前半パート
第11回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 中盤パート
第12回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 後半パート
第13回	実習班ごとに公演用の振付+構成を付ける 前半パート+ソロ及びユニゾンなどのパート
第14回	実習班ごとに公演用の振付+構成を付ける 中盤パート+ソロ及びユニゾンなどのパート
第15回	実習班ごとに公演用の振付+構成を付ける 後半パート+全体構成確認